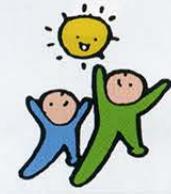




自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団！



所属議員：野本陽一 神谷裕之 井上直子 橋口邦利 長峰宏芳 小谷野五雄 島田正 鈴木聖二 小島信昭 渋谷実 齊藤正明
細田徳治 鈴木弘 荒川岩雄 宮崎栄治郎 本木茂 小林哲也 梅澤佳一 加藤裕康 田村琢実 高橋政雄 和田浩士 屋惠一 岩崎宏
神尾高善 諸井真英 石井平夫 木下高志 中屋敷慎一 沢田力 伊藤雅俊 新井一徳 須賀敬史 加藤末勝 星野光弘 中野英幸 武内政文
齊藤邦明 小川真一郎 山下勝矢 枝久保喜八郎 白土幸仁 柿沼トミ子 岡地優 荒木裕介 森伸一 新井豪 立石泰広 小久保憲一



危険ドラッグに関するPTにて条例を検討する委員

危険ドラッグ撲滅へ！ ハブリック・コメント募集中！

自民党県議団では、相次ぐ危険ドラッグの問題を解決すべく、「危険ドラッグ問題に関するプロジェクト・チーム」を発足し、規制条例制定に向けた取り組みを進めております。この度、条例制定に向けた条文案を左記ホームページにて公表させて頂き、広く県民のご意見・情報等を募集しております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

自由民主党埼玉県支部連合会ホームページ
www.jimin-saitama.net

新しい年を迎え、皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。旧年中は、我が自民党県議団の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

また、昨年の暮れに行われました衆議院総選挙では、皆様方の力強いご支援を頂戴致しました。政権運営の安定を通して、デフレ脱却に向けた経済政策の推進、創生等、国との強い連携のもとに、極め細やかな施策の推進を図つて参りたいと存じます。

さて、早いもので、今年

埼玉県議会自由民主党議員団
団長 小谷野 五雄



団長ご挨拶

は統一地方選挙が行われる年となりました。自民党県議団は、県政をリードする責任のもと、この4年間も先人の築いてきた歩みを踏襲するとともに、新たな視点で様々な施策を推進して参りました。ここにいくつかの取り組みをご紹介させて頂きます。

まず、県政世論調査では常に上位に位置づけられる要望として「医療サービス体制を整備する」ことが求められています。急速な高齢化が進行している埼玉県では、早期の医師不足への対応や高度医療施設の充実などを推進する必要があります。そこで、自民党県議

は、全国トップレベルの制定数であり、議会改革の一歩と自負しております。この他にも様々な施策をすれば、全国トップレベルの制定数であり、議会改革の一歩と自負しております。この他にも様々な施策を進められます。急速な高齢化が進行している埼玉県では、早期の医師不足への対応や高度医療施設の充実などを推進する必要があります。そこで、自民党県議

会では、県内へ大学病院誘致に向けた取り組みを開始するとともに、厚生労働省に基準病床数改定に向けた折衝を開始致しました。その結果、試算基準の見直を行うことで、1,502床の増床が認められることとなり、これを受け、医師の確保及び育成に資する病院として、大学病院の公募に向けた取り組みがスタート致しました。また、自民党県議団は、今期4年間で7本（平成二十七年一月一日現在）の議員政策条例を提案し、成立することができました。これは、全国トップレベルの制定数であり、議会改革の一歩と自負しております。この他にも様々な施策を進められることになります。今後も、県民ニーズを的確に捉え、活力ある埼玉県を創造するため、一丸となって取り組んで参ることをお約束致します。



塩崎自民党政調会長代理に病床拡大の要望書を渡す懇話会役員(平成26年1月)



関口総務副大臣(当時)・古川参議院議員と協議する懇話会役員(平成25年12月)

自由民主党埼玉県議会議員団では、県政世論調査における強い県民要望の一つである「医療サービス体制を整備する」ために、埼玉県の医療課題を精査し課題解決に向け対策を協議してまいりました。埼玉県では、急速な高齢化が進むこと、が懸念される中、高度医療施設の整備や医師不足問題などの解決が喫緊の課題として上げられ、県民要望と相まって早急な解決に向けて取り組むことと致しました。

そこで、医療問題を特別に審議する場として「埼玉県議会医学部新設及び総合病院誘致推進自民党懇話会(会長野本陽一)」を立ち上げ、高度医療に従事する大学病院の設置と医師養成を行う「総合大学病院」の県内誘致に向けて活動を行つて参りました。この中で、埼玉県内における病院のベット数(基準病床)が、大学病院誘致には欠かせない問題であることを受け、厚生労働省に対し病床数の増加策の要望を開示して参りました。

この度、当懇話会の活動が実り、厚生労働省の基準病床の算出根拠であった「国政調査人口数」から「直近の住民基本台帳人口数」での算出が認められ、埼玉県全域における基準病床数は1,502床増加する運びとなりました。

厚生労働省の鉄板規制である病床数に風穴をあけることができましたのは、当懇話会の活動に対しご協力を頂きました新藤義孝総務大臣(当時)、関口昌一総務副大臣(当時)、また、医師である古川俊治参議院議員など、県内選出自民党国会議員の皆様のお力と政権力により実現することができました。これを受けて、埼玉県では、第6次地域保健医療計画の変更を行い、病院整備計画の実施に向けて大学病院誘致の準備が進められております。

自民党県議団医療懇話会の活動が実る!

厚労省の鉄板規制を突破・大学病院誘致!

基準病床1,502増へ!

自民党県議団の要望が

政府の対応策として実現!

米価暴落対策を要望!

| 埼玉県議会における議員政策提案条例の軌跡 | |
|----------------------|---|
| 平成14年12月 | 埼玉県中小企業振興基本条例 |
| 平成16年3月 | 埼玉県行政に関わる基本的な計画について議会の議決事件等と定める条例 |
| 平成16年3月 | 埼玉県防犯のまちづくり推進条例 |
| 平成19年2月 | 埼玉県スポーツ振興のまちづくり条例 |
| 平成21年7月 | 埼玉県文化芸術振興基本条例 |
| 平成21年7月 | 埼玉県行政に関わる基本的な計画について議会の議決事件等と定める条例の一部を改正する条例 |
| 平成22年12月 | 埼玉県防災航空隊の緊急運航業務に関する条例 |
| 平成23年10月 | 埼玉県歯科口腔保健の推進に関する条例 |
| 平成23年12月 | 埼玉県私立学校助成審議会条例 |
| 平成24年3月 | 埼玉県觀光づくり推進条例 |
| 平成24年10月 | 埼玉県中小企業振興基本条例の一部を改正する条例 |
| 平成25年3月 | 被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例 |
| 平成25年12月 | 埼玉県がん対策推進条例 |
| 平成26年3月 | 埼玉県商店街活性化条例 |

平成元年～平成26年3月末現在(埼玉県議会事務局政策調査課調べ)

議員政策条例で県政をリード!

近年、議会改革が叫ばれる中、埼玉県議会でも様々な改革を行つて参りました。また、議会の権能を高めるために、行政のチエック機関としての議会と相まって、積極的に県民ニーズに応えるために、近年、議員政策条例を積極的に提案・成立致しております。埼玉県議会における条例制定は、「文化芸術振興基本条例」以外全て自民党県議団が単独で条例提案しており、県民の身近な問題を的確に捉え政策に反映しております。今年2月定例県議会においても、2本の条例を提案する準備を進めています。これからも自民党県議団は積極的に施策を推進して参ります。



稻田自民党政調会長に米価暴落対策を要望(平成26年9月)

本年の県産コシヒカリの価格は概ね8千円前後と昨年の3割以上も値下がりしております。生産者に取っては極めて異常な状況であり、農業経営の存続に関わる大きな事態となっています。そこで、米の流通価格が暴落している現状を受け、自民党県議団では早急な対策を行う必要性から、国に対する要望を行いました。価格下落の原因である市場での余剰米の解消を目指し、政府が余剰米の買い上げを行うことで米価の安定を図るとともに、稻作農家への経営支援を求めるものであります。

これを受けて、農水省では過剰米対策として二十万トン規模の米を来秋まで隔離保管することをしっかりと対応されることを表明しました。



県政のこと、身近なこと等、何でもご相談下さい!

埼玉県議会議員

岡地まさる

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所

住所: 埼玉県桶川市大字坂田16

電話: 048-728-5308

ホームページ: <http://www.okachimasaru.com>